



# 平成26年度 市の連結財務書類4表をお知らせします

平成26年度の市全体の財務状況を把握するため、市と関連する団体を含めた連結グループ（下図参照）により財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成しました。

詳しい内容は、政策財政課窓口に備え付けの「平成26年度十和田市財務書類報告書」または市ホームページをご覧ください。  
 政策財政課財政係 ☎⑤6713

## 財務書類から市の財政状況の特徴や傾向を把握

財務書類の各項目から、市の財政状況の特徴や傾向を把握することができます。また、各自治体でも作成しているため、他市と比較することが可能になります。



■市民1人当たりの資産と負債 (【貸借対照表】資産÷人口、【貸借対照表】負債÷人口)

資産	平成26年	299万円	平成25年	306万円	県内市部平均	平成25年	290万円
負債	〃	163万円	〃	138万円	〃	〃	112万円

■市民1人当たりのコストと収益 (【行政コスト計算書】経常行政コスト÷人口、【行政コスト計算書】経常収益÷人口)

経常行政コスト	平成26年	88万円	平成25年	83万円	県内市部平均	平成25年	81万円
経常収益	〃	37万円	〃	33万円	〃	〃	28万円

■資金の流動比率 (【貸借対照表】資産のうち流動資産÷【貸借対照表】負債のうち流動負債×100)

1年間の資金の安定性を表し、100%以下は借金の返済のために新たな借金が必要な状態です。昨年度と比較して、流動比率は減少していますが、県内他市と比較しても安定しています。

資金の流動比率	平成26年	190.7%	平成25年	206.2%	県内市部平均	平成25年	133.8%
---------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	--------

■地方債の償還可能年数 (【貸借対照表】負債のうち地方債残高÷【資金収支計算書】経常的収支額)

地方債残高が、通常見込まれる歳入と歳出の差額の何年分に当たるかを計算することで、地方債残高の程度をはかることができます。昨年度と比較して、地方債残高が増加しているため、償還可能年数が長くなっています。また、県内他市と比較するとほぼ平均的な数値となっています。

償還可能年数	平成26年	12年	平成25年	10年	県内市部平均	平成25年	11年
--------	-------	-----	-------	-----	--------	-------	-----

※人口は、平成27年3月末日の人口63,581人を用いています。

### 十和田市の財政状況は…

いずれの数値も健全な状態で、将来への負担も抑えられていることから、健全な財政運営が行われていることが分かります！

**用語の説明**

■貸借対照表  
 公共資産▼土地や建物など住民サービスのために提供されている資産です。  
 流動資産▼現金やすぐに使える基金、税金などの未収入金です。

■資金収支計算書  
 経常的収支▼経常的な行政活動により生じる収入、支出です。  
 公共資産整備収支▼道路や学校、公園など主に貸借対照表の有形固定資産形成のための収入、支出です。

投資・財務的収支▼公営企業や団体への出資金・貸付金、地方債の元金償還額などの収入、支出です。

